

あなたに届ける議会のホットニュース

うれしの 市議会だより

U R E S H I N O

No.63

令和3年
10月27日発行

9月
議会の
ニュースの
とびら

令和3年度補正予算を審議
専決処分および9月補正の
中身……………P2～4

議案の賛否どうなった
それぞれの議案に対する
賛否表……………P5

令和2年度決算を認定
市民のお金を使った各事業成
果の審査を行い、指摘事項を
添えて認定した……P8～11

活発な一般質問
13名の議員が様々な
政策論争を展開
……………P12～20

委員会レポート
総務企画、文教福祉、産業
建設各常任委員会調査報告、
庁舎検討特別委員会の調査
研究……………P22～23

ときの人
嬉野高校生(塩田キャンパス)
ロボット競技佐賀県大会優勝
……………P24



収穫を喜ぶ子どもたち

発行：嬉野市議会 編集：議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地 TEL: 0954-66-9127 FAX: 0954-66-2887

令和3年第3回定例会

4億6,200万円を追加

補正
予算

一般会計総額 195億2,740万円に！

令和3年9月
定例会説明

令和3年第3回定例会は9月3日に招集され、10月4日まで32日間の日程で開催されました。本定例会には報告7件、専決処分承認2件、条例の一部改正4件、契約の締結1件、令和3年度補正予算2件、令和2年度決算認定9件と人事案件1件の併せて19件の議案が提案されました。9月13日に条例の制定1件、補正予算2件の議案が追加提案され、9月21日に決算認定9件を除く全議案を可決、また、人事案件1件は適任と答申しました。（賛否表はP4）

また、今議会の一般質問は13名の議員が3日間にわたり市政全般への質問と、活発な政策提案を行いました。



▲整備が進むハウス団地（宮ノ元地区）

近年、市内の新規就農者は施設園芸が中心であり、今後ともトレーニングファーム卒業生や意欲ある就農者の増加が見込まれます。

ことにより、新規就農者の圃場選定の課題を解決し、造成の費用削減を図ることで、負担軽減と安定した営農形態の確立で新規就農者の確保を図るための事業です。

ハウス団地基盤整備事業
3,590万円

令和3年8月の豪雨により、市内51カ所の農地や施設に大きな被害が発生しました。

災害の早期復旧を図り、農業経営の安定に寄与するため、農地・農業

用施設の災害復旧にかかる測量設計を行うものです。

現年農地・施設災害復旧事業
4,515万円

▲約400mにおよぶ甚大な土砂災害（内野山地区）

令和 3 年度専決処分 及び 9 月補正予算主要な事業

所 管 課	事 業 名	予算額 (単位：千円)	事 業 内 容
新幹線・まちづくり課	牛の岳線タクシー代行事業	4,659	令和 3 年 8 月の豪雨で道路損傷したバス路線の代替タクシー運行
福祉課	豪雨災害被災者等支援事業	23,100	災害救助法に基づく避難場所としてホテル・旅館を借り上げる
環境下水道課	災害等廃棄物処理事業	1,016	豪雨災害廃棄物の適正な処理を行い被災者の生活再建支援を図る
建設・農林整備課	現年農地・施設災害復旧事業	45,157	被災した農地・農業用施設の災害復旧にかかる測量設計を行う
//	現年林道災害復旧事業	44,927	林道災害被災箇所の復旧を行い、通行の安全確保や林業経営の安定に寄与する
//	現年公共土木施設災害復旧事業	83,522	公共土木施設の災害復旧にかかる測量設計及び崩土等の除去を行う
農業政策課	ハウス団地基盤整備事業	35,900	整備地区の土層改良等の整備。また、前耕作者への作物補償や新規就農者への家賃補助
茶業振興課	お茶の含み飲み普及啓発消費推進対策事業	9,650	感染予防として効果的との公式発表を受けて、お茶の含み飲み関連事業を行う
教育総務課	非接触型自動水栓化	(小学校) 12,296 (中学校) 6,382	接触に伴う感染リスクの軽減及び児童生徒の衛生面での不安を解消する
福祉課	被災住宅応急修理事業	2,090	豪雨災害での半壊以上の住宅に対する応急修理補助
//	豪雨災害被災者等支援事業	20,000	罹災の程度に応じた見舞金の支給及び生活再建に必要な災害援護資金貸付金の創設
環境下水道課	環境衛生整備事業	1,380	8 月豪雨災害に係る復旧工事補助
茶業振興課	茶園基盤整備推進事業	25,600	災害復旧事業の対象にならない茶園災害復旧に係る経費を予算の範囲内で補助
総務・防災課	豪雨災害土砂等撤去事業	6,900	国、県の補助対象にならない小規模災害の早期復旧を支援する補助

災害復旧事業

令和3年8月豪雨により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

今回、嬉野市では、被災された皆さまの生活が少しでも復旧改善できるように支援事業等を実施されています。これまでの補助事業に対しての補助率のかさ上げや国や県の補助事業に該当しない

災害に対して市独自の土砂撤去費に補助をいたします。

また、地滑り、浸水等で家屋等が被災された皆さまには、住宅支援及び税・保険料の減免や水道・下水に関する生活面での減免もありますので市役所担当課へお問い合わせください。



▲生活道路の被災状況（上不動地区）

災害に対する支援の主なもの

支援メニュー	窓 口	内 容
罹災証明書	総務・防災課	実地調査に基づき、建物の被災の程度について証明するもの ※各種支援メニューの申請に必要なものです。
被災届出証明書	総務・防災課	建物や動産（家財道具・車など）が被災した事実を証明するもの ※各種支援メニューの申請に必要なものです。
災害見舞金	福祉課	嬉野市に住所を有する方で、災害による住宅の被災状況により被災された世帯に対して給付する見舞金。
災害義援金	総務・防災課	全国の皆様から寄せられた義援金を、佐賀県及び嬉野市の災害義援金配分委員会において決定した基準により被災された世帯へ配分します。
災害援護資金の貸付	福祉課	災害により、住宅が全壊・半壊または家財などの被災を受けた方に、一定の要件（所得制限など）のもと、生活再建のための援護資金を貸し付けます。
介護サービスの利用者負担の減免	福祉課	災害により、家屋、家財またはその他の財産に著しい損害を受けたことにより、居宅介護サービス利用料を負担するのが困難な方は、減免できる場合があります。
障害福祉サービス等の利用料の減免	福祉課	災害により、住宅に著しい被害を受けた場合や収入の減少により障害福祉サービスの利用料を負担するのが困難な方は減免できる場合があります。
医療機関での一部負担金の減免	健康づくり課	嬉野市の国民健康保険や、後期高齢者医療保険に加入中で、被災により住宅などに著しい損害を生じた方の医療機関での窓口負担が軽減できる場合があります。
土砂等撤去事業補助金	総務・防災課	地区等が所有し、または日常的に管理し利用している建物・土地等の土砂撤去にかかった費用に対して補助金交付。対象経費の80%以内を補助。
環境衛生整備事業	環境下水道課	災害に伴う、下排水路、生活道の復旧整備に対して補助金交付。
茶園農道整備事業	茶業振興課	豪雨災害で崩落した茶園農道の土砂撤去等に対して補助金交付。行政区施工の場合80%以内、業者への請負の場合50%以内を補助。
茶園基盤整備推進事業	茶業振興課	豪雨災害で被災した災害復旧事業の対象とならない茶園の災害復旧に係る経費に対して80%以内の補助金交付。
農業用施設整備事業	農林整備課	豪雨災害で崩落した農業用施設の土砂撤去等に係る経費に対して補助金交付。行政区施工の場合80%以内、業者への請負の場合50%以内を補助。

令和 3 年 9 月定例会議案賛否表（主なもの）

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		結 果	表 決 数	山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻 浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原睦也
議案第 59 号	専決処分（第 6 号）の承認を求めることについて（令和 3 年度嬉野市一般会計補正予算（第 6 号））	承認	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 63 号	嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 64 号	売買契約の締結について（タブレット）	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 65 号	令和 3 年度嬉野市一般会計補正予算（第 7 号）	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 66 号	令和 3 年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 67 号	令和 2 年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	13:1	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 68 号	令和 2 年度嬉野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 76 号	嬉野市罹災者に対する見舞金支給条例について	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	令和 3 年度嬉野市一般会計補正予算（第 8 号）	可決	14:0	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

嬉野市議会から国への

意見書

令和 3 年 8 月豪雨の災害対策について（要望）

知的障害者が安心して暮らせる入所施設を求める意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

陳情

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

「新しい提案」実行委員会 責任者 安里長從
 全国青年司法書士協議会 会長 阿部健太郎

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松

人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請する」と

選択的夫婦別姓制度の導入を求める会長声明

佐賀県弁護士会 会長 安永恵子

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書

全日本自治団体労働組合佐賀県本部 執行委員長 宮崎 啓二郎

第2回 臨時会

7月12日

コロナ禍における

経済対策 支援事業

令和3年第2回嬉野市議会臨時会が、7月12日に開催されました。提出議案は財産の無償貸付1件と補正予算1件。財産の無償貸付については全会一致で可決しました。補正予算は14人の議員全員が議案質疑を行い、討論では4人が反対、1人が賛成。採決の結果10対4で可決しました。

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、市内経済の活性化と市民の生活支援を図るため、現在市内で利用されている「うれしかーど」を活用した「うれしかーどキャンペーン」を実施するものです。財源として国の地方創生臨時交付金の配当額未充分を全額当て、残りは財政調整基金から繰り入れます。近隣市町のように市民に一定額の商品券を配布するだけではなく、地元商工業者の活性化を考慮したものとなっています。



▲10月から実施される「うれしかーどキャンペーン」

す。課題もありますが、今後の執行部の取り組みに期待します。財産の無償貸付については、道の駅に隣接する宿泊特化型のホテルを建

設・運営を計画している民間事業者に開業までの準備期間で実施し、営業開始後は土地貸付料が発生します。事業の円滑な推進を望みます。

議案名	事業費	事業内容
新型コロナウイルス感染症 緊急対策事業 (ポイントカード活用事業)	1億1,500万円	市内店舗での購買意欲を喚起するため、18歳以上の市民を対象に「うれしかーど」に独自のポイント5,000円分を給付する事業で、市内経済の活性化と市民の生活支援を行う。 また、スタンプラリーを開催し早めの消費喚起を行う。
財産の無償貸付について	—	嬉野温泉駅周辺整備事業は官民連携でまちづくりを進めており、事業を円滑に進めるため無償貸付を行う。

市の経済対策 支援事業について討論

今回提案されたコロナ禍による市民や事業者への経済対策支援事業について、5人の議員から反対・賛成の討論がなされました。



増田 朝子 議員

反対

①市民に対しての公平公正さに欠ける。
②嬉野温泉商店サービス会だけではなく、他の事業者、市民の声も聞くべきであり、準備不足で急に物事を行っている。

③市内経済の活性化と市民生活の支援になっていない。これまでも手続きが簡単でわかりやすく誰もが潤うような市民全体への商品券配布、そして、その商品券

をどこでも使用できる店舗の公募が公平公正の支援策と求めてきたが市民の方が納得できる提案ではない。よって議案第56号に反対する。



山口 虎太郎 議員

反対

ポイント付与は市民が対象である。
①市民への公平性、利便性で、出向かないと貰えない。事業者が機器を導入しないと利用できない。透明性では、事務処

理が組合員である。
②短期集中の経済対策としては、商品券が効果があり、事業者からも公平性、透明性がある。理由として市民の手元に届き住民サービスとして市民

に分かりやすい。5千円の商品券で配布すれば、券の色分けで市内事業者4千円、大型スーパー店千円分と利用可能な公平性と効果がみえ、8月の商品需要期に使える。



芦塚 典子 議員

反対

「うれしかーどキャンペーン」に高額な予算が計上されてる。うれしかーどは、嬉野町内では普及しているが、塩田町においては、取扱店も少ない。事業所にとって、加入金等費用など負担が

大きくカード集計・管理にも商店街組合の負担になる。ポイントカードは高齢者には使いにくく、永続性が見えない。例えば商品券等を配布すると全市民が近くの商店や直売所ですぐに利用でき、

市民の生活支援になり経済効果が生まれる。この事業は市内の経済の活性化と市民生活の支援とはならない。よって反対する。



山口 政人 議員

反対

塩田の生活圏は武雄市と鹿島市で、塩田に加盟店がない現在では、わざ

わざ嬉野まで買い物には行かない。塩田の人がカードを取得するのは少

ないと思う。行政は不公平が出ない事業をやるべきだ。



山口 忠孝 議員

賛成

議案審議では14人全員から様々な質問が出され、現状ではこの事業の取り組みは厳しい気がする。ただ、執行部や担当課

がこういう形で一生懸命やろうとしているので一度やってみたらいいと思う。いい機会であり、しっかりと進めて成功に導いてもらいたいとの希望を

込めて賛成の討論とす



▲令和2年度に新築された消防機庫（五町田地区）

令和3年度補正予算関連の討論採決後、9月22日に決算特別委員会を設置し、令和2年度一般会計、特別会計など9件の決算認定について慎重審議、また、現地調査も行い、各課への指摘事項を含めた意見を付して10月4日、意見書2件の発議と併せ、賛成多数で可決し、第3回定例会を閉会しました。（賛否表はP5）

一般会計1億8,698万円の 黒字決算

令和2年度一般会計決算状況は、歳入総額223億1080万円（前年度比28・4%、49億3845万円増）。自主財源比率は41・5%で前年度比3・7%減少し、依存財源比率は58・5%に増加しています。理由として、特別定額給付金事業による国庫支出金の増加が主な要因です。

歳出総額は215億3422万円（前年度比28・3%、47億4756万円の増）。要因として、ふるさと応援寄附金積立

金等の総務費や新型コロナウイルス感染症対策費用の増加などが主な要因です。

実質単年度収支は1億8698万円の黒字決算となっており、経常収支比率では前年度より7・1ポイント改善していますが、歳入増に貢献するふるさと応援寄附金は不安定な要素もあるので今後注視する必要があります。

国民健康保険特別会計は実質収支9713万円の黒字決算となっていま

すが、後期高齢者医療特別会計については過年度分納付金の増により不足額76万円を翌年度予算からの繰上充用を行い、ほか6つの特別会計については実質収支額の合計が9295万円で各会計とも黒字決算となっています。

以上全ての決算について認定しました。

令和2年度 一般会計 特別会計 決算

各決算の状況

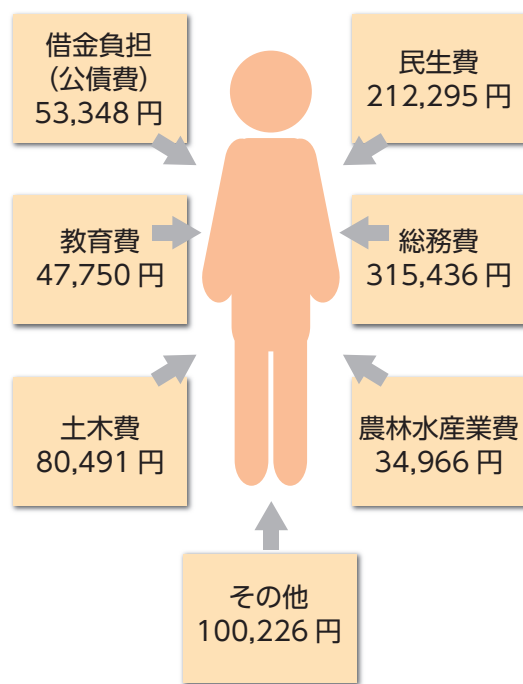
会計名		総収入	総支出	差引額
一般会計		223億1080万円	215億3422万円	7億7658万円
特別会計	国民健康保険	35億1463万円	34億1750万円	9713万円
	後期高齢者医療	3億7787万円	3億7863万円	△76万円
	農業集落排水	3億9558万円	3億8357万円	1201万円
	公共下水道事業費	4億6523万円	4億4821万円	1702万円
	浄化槽	1億6761万円	1億6082万円	679万円
	第七土地区画整理事業費	7952万円	6788万円	1164万円
	第八土地区画整理事業費	4917万円	1815万円	3102万円
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費	2億4207万円	1億9168万円	5039万円

主な財政指標

区分	令和2年度	令和元年度	用語の説明
財政力指数	0.381	0.384	基準財政収入額を基準財政需要額で除した過去3年間の平均値。指数が1を超える場合や1に近づくほど財源に余裕があることとなります。
実質収支比率	8.2%	7.1%	実質収支額を標準財政規模で除したもので普通3～5%程度が望ましいとされています。
経常収支比率	86.4%	93.5%	使い道が自由な一般財源のうち必ず支出しなければならない経費の割合。いわば地方財政のエンゲル係数で100%に近いほど財政にゆとりがないことになり、80%までが適正とされています。
実質公債費比率	9.8%	9.6%	収入に対する負債返済の割合で過去3年間の平均値。18%以上だと新たな借金をするためには県の許可が必要で25%以上だと制限されます。
将来負担比率	26.8%	58.9%	一般会計で将来負担すべき負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。350%を超えると早期健全化団体に転落し健全化計画を提出しなければなりません。

市民（25,499人） 一人当りに使われたお金

令和3年3月末現在



市税負担(一人当たりの人口割) 844,512円

議会からもの申す

決算特別委員会は、3つの分科会に分かれて一般会計、特別会計8件の合計9件を10月1日まで慎重に審査しました。決算書及び決算資料に基づき、各担当課より詳細な説明を受け事情聴取をし、現地調査も行いました。その結果、それぞれの担当課への指摘事項を付しています。

総務・防災課

職員健康診断・ストレスチェック・職員健康相談事業において、コロナ禍や毎年続く災害等での業務過多も考慮し、専門的な職員（保健師等）の配置も検討すべきである。

財政課

公共施設等個別施設計画策定業務は、長寿命化に向けて計画に基づいた修繕改修等適正な維持管理に努めるべきである。

税務課

コロナ禍において徴収

努力は認められるが、更なる徴収率向上に努められたい。今後も税滞納者へのきめ細やかな対応に努めるべきである。

企画政策課

嬉野市コミュニティセンター（楠風館）は雨漏りが続いている。修繕改修等維持管理を行い、地域福祉の増進に努めるべきである。

広報・広聴課

企業誘致事業における産業用適地調査業務については、候補予定地として4カ所に絞られている。今後の方向性を早期に決断し、地域住民などへの丁寧な説明及び対応に努めるべきである。

文化・スポーツ振興課

自治公民館新築・改修補助においては、交付要綱に規定している補助対象の明確さに欠ける。早急な要綱改正に努めるべきである。

福祉課

避難行動要支援者名簿管理業務他については、災害多発の現状に鑑み関係課とも連携して業務を更に進めるべきである。

健康づくり課

地域自殺対策強化事業は「こころの相談事業」としての取り組みで、相談件数も増加傾向にありその効果も大きい。今後、専門の相談員を増やすなどすべきである。

教育総務課

市史編纂事業は、コロナ禍によって進捗に支障をきたしている。早期に事業のスケジュールを見直すべきである。

農業委員会

農地での太陽光発電設備の設置で排水路の不備が見受けられる。災害やパネルの処分課題もあり、他課を含めて独自の条例制定も検討すべきである。

農業政策課

有害鳥獣被害防除対策事業では、高齢化と共に捕獲者が減少傾向にある。後継者の育成と最終処分する方法も検討すべきである。

茶業振興課

うれしの茶交流館は、コロナ禍の影響で入館者が減少している。他の所管との連携や旅行代理店等による誘客対策を講じ、体験メニューや物販にも力を入れて取り組むべきである。

観光商工課

コロナ禍により市内経済に影響が出ている。今後も経済回復のために、十分な情報収集をしながら対応すべきである。

新幹線・まちづくり課

駅周辺整備事業は来年秋開業に向けて整備が行われているが、事業費の

繰越しが見られる。開業に向けて着実な事業の進捗を求める。

環境下水道課

佐賀西部広域環境組合では、構成市町のごみの分別方法が統一されていない。施設の長寿命化やごみ減量化のために統一を求めるべきである。

建設課

電子入札で効率化が図られているが、建設業界においては人員不足や高齢化により応札がない事例が増えている。事業を円滑に行うためには地元業者の育成を図りながら、入札の方法を検討すべきである。

農林整備課

森林環境税については、全てを管理するには財源が不足する。災害のおそれがある箇所から優先的に事業を推進すべきである。

次ページから 一般質問

13 議員が質問

森田 明彦 議員
(P12)

諸井 義人 議員
(P12)

山下 芳郎 議員
(P13)

芦塚 典子 議員
(P14)

川内 聖二 議員
(P14)

辻 浩一 議員
(P15)

諸上 栄大 議員
(P16)

山口 虎太郎 議員
(P16)

梶原 睦也 議員
(P17)

山口 卓也 議員
(P18)

増田 朝子 議員
(P18)

山口 忠孝 議員
(P19)

宮崎 良平 議員
(P20)

決算特別委員会産業建設分科会において新幹線駅周辺源泉掘削工事の温度と成分深度を質問し泉温25度、深度200mで温泉の成分はあるが、街なかの源泉成分との比較は未確認と答弁あり、事



山口 虎太郎 議員

業に対する疑問を感じ反
対討論を行う。
理由は、掘削計画に
し県と事業者調査資料等
もあり、比較検討すべき。
費用対効果として効果
的な使い方ではない。
理由は、所管で現在湯

けむり広場、足湯等との
ランニングコストの比較
検討すれば財源の無駄を
減らせる。
温泉保護と観光の観点
から問題がある。

令和2年度一般会計決算書、足湯施設等 温泉掘削工事3833万円

決算反対討論

各会計の円滑な運営を図るとともに、市民の福祉向上のための行政運営に一層努
力されることを期待する。

終わりに

決算年度末現在高

貯金はこれだけ

基金の項目	令和2年度末現在	令和元年度末
財政調整基金	32億6,791万3千円	33億6,255万8千円
減債基金	11億5,529万7千円	11億1,349万3千円
地域づくり 推進事業基金	4億1,785万4千円	4億1,741万5千円
ふるさと応援 寄附金基金	8億62万1千円	24万7千円
地域福祉基金	2億1,405万1千円	2億1,405万1千円
公共施設建設基金	4億1,961万2千円	2億3,876万7千円
森林環境譲与税基金	2,322万7千円	0円
奨学資金積立金	7,158万1千円	6,836万6千円
教育環境支援基金	1億円	200万円
下水道事業基金	1億3,837万8千円	1億3,826万9千円
合併振興基金	13億7,978万4千円	13億8,545万6千円
土地開発基金	1億150万4千円	1億139万3千円
ふるさと応援寄附金 子育て夢基金	1億1,976万3千円	1,700万6千円
その他	2億3,278万9千円	1億7,936万8千円
合 計	84億4,237万4千円	72億3,838万9千円

借金はこれだけ

借入金の項目	令和2年度末現在	令和元年度末
公共事業債	5億3,025万1千円	3億9,696万3千円
公営住宅建設事業債	4,740万9千円	5,622万6千円
災害復旧事業債	3,025万9千円	2,457万8千円
(旧) 緊急防災 ・減災事業債	1,869万1千円	2,797万円
教育・福祉施設等 整備事業債	2億3,918万3千円	2億2,201万円
一般単独事業債 (うち合併特例事業債)	52億8,598万9千円 (37億4,199万5千円)	58億3,590万円 (42億8,167万2千円)
国の予算貸付・ 政府関係機関貸付債	86万円	269万円
財源対策債	1億6,922万2千円	6,074万3千円
減収補填債	1,953万4千円	0円
減税補てん債	3,069万4千円	4,241万8千円
臨時財政対策債	47億7,569万9千円	49億3,258万9千円
その他 (一般会計出資債)	3億7,659万3千円	4億3,588万5千円
合 計	115億2,438万4千円	120億3,797万2千円



通

学路の安全確保はできているか

森田明彦議員

答 千葉の事故後、豪雨後の点検と併せ行った

森田 千葉県での痛ましい事故を受け、市内の学校への聞き取りや指導は行われたか。

教育長 通学路交通安全プログラムを8月に前

倒し、豪雨後の通学路の点検も同時に実施、危険箇所を抽出し、関係機関とも連携を取り実施した。

森田 事故の報道後、

市民より国道34号今寺バス停、一位原間の歩道設置についても心配する声がある。進捗状況は。

市長 地域の懸案として長年の要望もある。新幹線開業に伴って交通

量も増えると予測されることから、歩道設置事業も一歩一歩進んでいると認識している。

園児の送迎について

森田 福岡県で園児が送迎バス内で亡くなった

事件を受けて、市内保育園等への聞き取りや指導は行われたか。

子育て未来課長 送迎バスを運行する園につい

ては車内確認を2名体制で適切に行なわれている。また、欠席連絡後の情報共有も適切に行われていることを確認した。

災害時の一人暮らしの高齢者への対応は

森田 8月の豪雨の際、

緊急放送を聞いても避難行動に踏み切れなかった方もいたと聞く。災害時の避難について具体的な仕組みを検討する必要があると思うが。

福祉課長 避難が必要

か迷われ、家にいた方がおられたと認識している。まずは地域での支援体制づくりも検討していく必要があると考える。



▲通学路の安全確保を

消防団への対応について

森田 消防車の仕様が古くマニュアル車のため、

若い団員からオートマ限定の免許証では運転できずに困るとの声があるが対策を考えているか。

市長 最近の実情も聞いているが、ポンプ車一

台の値段も高額であり一気には難しいので更新の機会を捉えてオートマ車への転換を図っていく。

志 田焼の里博物館の保存について

諸井 義人 議員

答 嬉野市の宝として守り育てていく



諸井 今後の修理保存計画はどうなっているか。

市長 シロアリ被害が発生し、今回の補正予算で対策工費や根本対策

につなげる調査費も計上した。

諸井 陶芸体験の需要も高く、体験室の増設の要望が出ているが。

市長 博物館の敷地内だけでなくその周辺も含めた活用の中で、敷地外に増設を求めるのも選択肢だと思う。博物館を中心とした賑わいづくりを地元の思いや観光客のニーズを受け止め、一つの計画として打ち出した。

工業団地について

諸井 工業団地予定地の地権者への説明会は。

広報・広聴課長 企業等への動向調査及び周辺地域の現状などを総合的に検討し、方針が決定後に速やかに行いたい。

国道498号について

諸井 田中町から下久間までの現道拡幅要望において現在の進捗は。

市長 最重要課題として、国道498号整備促進期成会の中で要望活動を行っている。

諸井 今年6月に千葉



うれしかーどのポイント付与は 予定どおりか

山下 芳郎 議員

答 一カ月遅れで対応する

山下 コロナ過での経済対策として嬉野温泉商店サービス会「うれしかーど」のポイント付与を7月臨時議会で可決したが、9月から開始予定の進捗状況と取り扱い店を100店舗へ増やし、ポイントを支給する予定で

観光商工課長 コロナ感染拡大と豪雨等で一カ月遅れの対応をしている。ポイント付与は本人の意思確認と併せて申請書を郵送する。

山下 市民へ経済支援がまだ届いていない事についてどう思うか。

市長 やむを得ずの判断で、申し訳なく思う。

ワクチン接種は順調か

山下 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種状況を伺う。

市長 接種率は1回目75%、2回目66%で全国平均を大きく上回っている。

山下 イベント等中止が相次ぐ中で市主催の市民への庁舎の説明会が10会場で開催されている。幹部会議で延期または書面での意見徴収等提案はなかったのか。

企画政策課長 8月中旬の予定をこの時期に延期し、感染防止策を講じた。

豪雨災害の対応は

山下 今回の災害について激甚指定、災害救助法の適用の考え方は。

総務・防災課長 激甚指定の見込みで財源措置に取り組んでいる。災害救助法の基本は現物支給で避難所支援等となる。

山下 市職員のマンパワー不足を民間から人材登用する事で避難所の運営、対策本部の支援等幅広く対応があると思う。平時から技術を習得し、緊急支援時の体制づくりにつなげられないか。

総務・防災課長 専門的な人材が求められ、簡単ではない。社会福祉協議会等人的支援を外から得る形は模索していく。

山下 強風、豪雨での公道に掛る看板、ひさし、交通標識等安全確認はできているか。

建設課長 全部は確認できていないが、パトロール時の目視で、異常があれば修繕し、市民からの情報でも対応している。

県において小学生の下校時に痛ましい交通死亡事故が起きました。歩道があれば救われた命かも知れない。このような事故が起きてからでは遅い。市長の見解を。

市長 子供の安全確保のためにも腹をくくってやるうと思っている。

排水機の増設を

諸井 今夏の大雨で塩田地区においては農地や住宅の浸水が多く発生した。内水氾濫による浸水

は、排水機の増設で防げたのではないかと。は、排水機の増設で防げたのではないかと。

市長 塩田川本流は、ダム建設や河川改修等の先人の知恵の結集で何とか氾濫を防ぐことが出来た。支流をどう制御していくかを流域全体で考えて行く必要がある。内水氾濫のメカニズムを研究し、総合的な対策の中で、ポンプの増強も選択肢として排除せずに治水というものに力を入れていきたい。



▲市内経済の活性化を目指して



▲体験者が多く訪れる志田焼の里博物館

庁舎統合は納得が得られない

芦塚典子議員

答 決断していくことが政治家の責務

と考える。

8月の災害状況と対策は

芦塚 大草野地区土砂災害の今後の対応は。

市長 県と一緒に調査を行っているところである。

芦塚 堤の上地区のため池の土砂災害の対策は。

農林整備課長 大木庭武雄線の道路部分の土砂を撤去し、ため池の水位を下げて土砂の流入を県・地区・市で確認している状況である。

芦塚 以前決壊した塩田川堤防の強化や布手地区の土手の強化を質問したが、その後の状況は。

建設課長 現在下流側からのり面の補強工事を行っているところである。

芦塚 馬場下排水機場は浸水の恐れがあるので、

市長 未来への方向性を示すことで決断していくことが政治家の責務だ

と思うが。

舎問題は時間をかけるべきと思うが。

を示すことで決断していくことが政治家の責務だ

←

地 滑り地区への対応は

川内 聖二 議員

答 最後まで寄り添っていききたい



川内 豪雨が4年立て

続けに発生し、今回2地

区が地滑りによる被害を

受け避難をされた。今後

の対応は。

民間ボランティアの方と一緒に家屋の補修や、長期避難による心身への影響が発生する可能性もあり市の保健師等の巡回を行っている。また、災害見舞金や貸付金など公的な支援も組み合わせ、日常を取り戻せるように最後の一人まで寄り添っていききたい。

川内 地域の地滑りに対する今後は。

建設課長 緊急地滑り対策事業で早期に対応するように国と関係機関と協議を行う。

川内 工事の計画は。

建設課長 工事自体は3年以内で終わらせなければならぬ。

川内 気候変動による塩田川水系の治水安全度を見直さなければならぬのでは。

市長 県としても気候変動型の対応をし、対策を考えられている。

川内 一番の対策は不動ダムの建設では。

市長 ダムが一番の効果が見え、最低でも数十年かかる。それまでの河



▲ 8月豪雨により地滑り災害を受けた（大舟地区）

川の補強を合わせ強く要望を行っていききたい。

川内 塩田地区の浸水

災害対策の方針を打ち出して頂きたいが。

市長 災害の対策、浸水災害を含めて力を入れて行く。財源がないからでは理由にならないので、行政改革を行い市民の命を第一に考えた行政運営を考えていく。

県道嬉野下宿塩田線は

川内 一位原交差点の渋滞を緩和するための県

道の整備は。

建設課長 国道から中学校までの整備が終わり次第、必要性を見て検討をされる。

川内 火の口交差点から唐泉橋までの拡張工事の要望は。

建設課長 今回、交差点から約180mが行われる。

市長 嬉野まで繋がる重要路線として、県の方へ要望をさらに強めていきたい。

重要路線として、県の方へ要望をさらに強めていきたい。

重要路線として、県の方へ要望をさらに強めていきたい。

重要路線として、県の方へ要望をさらに強めていきたい。

かさ上げはできないか。

農林整備課長 施設全

体の浸水対策について
県・メーカーと他市町の
調査をして対策を講じる。

芦塚 町分区田中町の

事業所や新興住宅の浸水
被害の状況と対策は。

市長 大変つらい思い

をされたと思っている。

芦塚 今回は入江川の

排水に問題があると思う
が。

建設課長 ポンプは6

基で排水能力を有してい
る。

芦塚 問題はポンプで

はなく、入江川下流・塩

田川分岐点の河川の荒廃
である。早急に浚渫と改

修工事が必要と思うが。

建設課長 入江川の浚

渫と河川の改修について
は県に状況報告をする。

芦塚 茶畑の耕作放棄

地は災害対策として森林
に戻す政策はできないか。

茶業振興課長 農地再

生支援事業を通じ、植林
等を進めていきたい。



▲庁舎は市民の暮らしと心のよりどころ



辻 世界的に見て、

日本のコロナ感染症対策
は十分に行き届いて成功
していると思うが。

市長 欧米に比べ死者

数は少ない。理由として
日本人の衛生観念の高さ、

政府のソーシャルディス
タンスの為の予算含め商

工支援、そして各企業の
努力が大いに役立ってい

るが、さらに国等にも手
を緩めることのない切れ

目ない政策を要望してい
く。

辻 現実としてゼロ

コロナはできないと思
う。正しく恐れてウイズ

コロナ、つまり新型コロナ

ウイルス感染症との共
生が重要だと思うが。

市長 感染症対策の徹

底、衛生意識の向上、さ
らに大きな波を繰り返す

中での対策が重要であ
る。死者・重傷者を少な

くする大原則の中で政策
を組み立てていきたい。

辻 若年層の接種率

が低いと思うが、ワク
チンの供給量と接種体制

は大丈夫か。

健康づくり課長 現段

階で予約が取れない問い
合わせはないので、希望

者の予約は取れていると
思う。

辻 任意接種なので

強制力はないが、副反応
を考慮して接種を拒否す

る方がいるが、市内の状
況はどうなっている。

健康づくり課長 特段

拒否をされている方は把
握できていない。

辻 ワクチンの有効

性を知らせ、お互いにう
つらない・うつさないよ

うに、接種を広げていく
ことが必要だと思うが。

健康づくり課長

接種

券を郵送するときにワク

チンの効果を広報もして
いる。また、ホームペー



▲若年層にも進むワクチン接種

65

歳以上の接種はどうなっている

辻浩一 議員

答 1・2回目とも90%以上となっている

ジ等でも出しているが、
若年層の接種状況を見な
がら市報等でもつなげて
いきたい。

辻 ワクチンの国際

的な枠組みの中で、財力
だけではワクチンの獲得
できないようになってい
る。今後のワクチン供
給は大丈夫か。

健康づくり課長 国は

11月には希望する国民が
接種できるワクチンは確
保すると言っている。



災

害物資供給システムの構築を

諸上 栄大 議員

答 民間企業との協定などの動きは必要

【諸上】 今回の豪雨災害では、各地区で多くの消防団員が災害の対応を行われた。その中において、かなり多くの土のうが使われ、不足した部もあったと聞く。現状はどうか。

【総務・防災課長】 土のう袋や中に詰める土や砂がなくなっただけの問題だったと思う。

【諸上】 実際に土のうの中身である砂・土を確保できている状況なのか。

【総務・防災課長】 実際に市としては確保できていない。

【諸上】 消防団の格納庫にはいくら土のうがストックされている。しかし、災害時に使いきる可能性は十分にある。そのような事を想定し、平時からの土のうの確保方法や、工務店などの民間業者と協定を結び、中身の土や砂を早急に対応できるシステムを考えるべきだと思うが。

きるシステムを考えるべきだと思うが。

【総務・防災課長】 工務店や建材屋などとの協定なり契約等を結ぶ動きは必要だと考える。

個別避難計画書の有効活用をはか

【諸上】 避難行動要支援者の個別計画の作成は何か。

【福祉課長】 作成済件数は735名である。

【諸上】 今回の災害において、作成された個別計画書がどのように活用されたのか、作成者の方々から話を聞いたが、現状はどうだったか。

【福祉課長】 基本的には、総務・防災課と連携して対応している。

【諸上】 情報提供先の関係機関に消防団を追加すべきと考えるが。

【総務・防災課長】 消防



▲迅速な対応ができるシステムの構築を

団との協議を図っていき

【諸上】 個別計画書を有効活用しブラッシュアップすることで、インクルーシブ防災という視点で取り組む姿勢が広まっていくと考えるが。

【市長】 作成済の個別避難計画書をどうやって実

効性のあるものに行っているかが課題。振り返りを行い有効活用しながら、本当に助けられる命を助けるという仕組みづくりを急ぎたい。

避難所への食料・備蓄品等の準備対応はできたか

山口 虎太郎 議員

避

答 パーティション等資材、備蓄パン、水ビケット等を拠出した



【山口】 今年8月災害の避難所への物資運搬、指揮命令系統はどうなっているのか。

【行政経営部長】 総務・防災課で手分けし職員に

運ばせている。

【山口】 避難所開設時のボランティアとの連携はできているか。

【総務・防災課長】 ボランティアの協力は、今いただいている。

【山口】 今回、被災による長期避難者に医療センター跡地の看護学校寮建物を市が借上げ、仮住居として活用できなかったか。

【建設部長】 市で検討し医療センターより利用可とあったが、令和4年度から解体を計画されており避難が長期に及んだ場合居住者の動線、安全性の確保等に障害が出る事で仮設住宅から除外した。

【行政経営部長】 県と国の協議により、仮設住宅は建設しないと決まった。

【山口】 市独自の災害経済支援として農道、林道への支援はできないか。

【総務・防災課長】 支援体制を現在予算化等をお願いしている。

嬉野温泉駅周辺整備について

【山口】 進捗状況を伺う。



市の命を守るため、県としっかり連携すべき

梶原 睦也 議員

答 情報共有し、県につないでいく

【梶原】 集団接種会場利用についての改善点は、

健康づくり課長 接種会場を設置する場合は同じ会場で2回摂取できるようにしたい。

【梶原】 新型コロナウイルス感染症は9割方飛沫による感染だ。いかにマスクをきっちりするかが大事だ。特に不織布マスクの徹底を図るべきではないか。

【市長】 デルタ株を受けて不織布マスク着用の意識が高まってきた。

【教育長】 吉田中学校通信では、いかに不織布マスクの効率がいいのかも紹介した。また、そのように指導もしている。

【梶原】 実際にコロナ感染者や濃厚接触者になった場合、市役所での相談体制が必要ではないのか。

【健康づくり課長】 感染者・濃厚接触者が県内で確認された場合の情報は市町名と年代・性別のみで市での特定は困難だ。

【梶原】 厚労省の感染症課長名で「都道府県は必要に応じて市町村と連携するよう努めなければならない」との通達もあっている。市民の命を守るため、県としっかり連携すべきではないか。

【市長】 公衆衛生上必要な場合は情報共有をするよう県につないでいく。

【梶原】 災害予防にどれだけ予算をつぎ込むことができるのか。災害発生箇所の原状回復だけで、次の災害に備えることが出来なければ災害予防にはならないのではないか。

【市長】 今回の災害復旧



▲飛沫予防に効果のある不織布マスク

者・濃厚接触者が県内で確認された場合の情報は市町名と年代・性別のみで市での特定は困難だ。

【梶原】 厚労省の感染症課長名で「都道府県は必要に応じて市町村と連携するよう努めなければならない」との通達もあっている。市民の命を守るため、県としっかり連携すべきではないか。

【市長】 公衆衛生上必要な場合は情報共有をするよう県につないでいく。

【梶原】 災害予防にどれだけ予算をつぎ込むことができるのか。災害発生箇所の原状回復だけで、次の災害に備えることが出来なければ災害予防にはならないのではないか。

【市長】 今回の災害復旧

の中で、抜本的対策にしていくほうがトータルコストはいいのではないかと感じた。目先の国の補助範囲の中でやってしまおうという考え方には立たないように現場と相談していく。

【梶原】 災害発生後の個人レベルの相談窓口も必要ではないか。

【市長】 民間ボランティアを活用して被災者の生活再建を強力に後押しできる仕組みづくりが重要だ。

【梶原】 乳児連れの避難者のためお湯の準備もいらない液体ミルクを避難所に備蓄しておくべきでは。

【総務・防災課長】 僅かではあるが備蓄している。小さなお子様連れには必ず必要なものと考え

【建設部長】 2022年秋開業予定で駅舎工事はほぼ完了し、駅舎見学会等も11月14日に計画されている。

【山口】 民間で協定された部分の進捗で市民の方々が心配されている状況を伺う。

【建設部長】 当初より民間の部分については、全てが完成した形で開業を迎える予定ではない。

【山口】 資材の高騰の点で市予算より相当な上振れが出るのではないのか。

【建設部長】 市が造る公

【茶業振興課長】 被災農家への営農再開支援、使用不能となった農薬・肥料等支援について県等関係機関と協議しながら対応する。

【山口】 8月災害で茶畑作土流失による来年の良質茶生産が危惧される、肥料等の経済支援は考えられないか。

【茶業振興課長】 被災農家への営農再開支援、使用不能となった農薬・肥料等支援について県等関係機関と協議しながら対応する。

【建設部長】 2022年秋開業予定で駅舎工事はほぼ完了し、駅舎見学会等も11月14日に計画されている。

【山口】 民間で協定された部分の進捗で市民の方々が心配されている状況を伺う。

【建設部長】 当初より民間の部分については、全てが完成した形で開業を迎える予定ではない。



▲崩壊した茶畑（内野山地区）

共施設は増額計上したが、民間施設については、市からの持ち出しはない。民間で整備していただく。

茶業施策について

【山口】 8月災害で茶畑作土流失による来年の良質茶生産が危惧される、肥料等の経済支援は考えられないか。

【茶業振興課長】 被災農家への営農再開支援、使用不能となった農薬・肥料等支援について県等関係機関と協議しながら対応する。

【建設部長】 2022年秋開業予定で駅舎工事はほぼ完了し、駅舎見学会等も11月14日に計画されている。

【山口】 民間で協定された部分の進捗で市民の方々が心配されている状況を伺う。

【建設部長】 当初より民間の部分については、全てが完成した形で開業を迎える予定ではない。

【山口】 資材の高騰の点で市予算より相当な上振れが出るのではないのか。

【建設部長】 市が造る公

【茶業振興課長】 被災農家への営農再開支援、使用不能となった農薬・肥料等支援について県等関係機関と協議しながら対応する。

観光分野の課題と今後の観光振興策は

山口卓也議員

答

消費拡大や観光振興体制の構築が必要であり、観光人材育成を図っていく



山口 嬉野市が抱える観光分野の課題は。

観光戦略統括監

①消費額の伸び悩みがあり、地域周辺に滞在してもらう活動メニューを作り滞在時間を延ばすことが必要だ。

②地域が一体となった観光振興体制（嬉野市版DMO）の体制構築が課題である。

③新型コロナウイルス感染症の影響があり、政府の行動制限の緩和の状況など不透明な状態である。

山口 今後の観光振興策は。

観光戦略統括監 「うれしの未来づくり塾」として人材育成事業を計画している。地域資源を生かした観光コンテンツの磨き上げや、商品造成のヒントを提供する講座等を予定している。また、新型コロナウイルス後を見据えて、観光プロモーション、マーケティングなどの講座を通じて嬉野市の観光人材育成を図り、嬉野市観光の活性化を図っていきたい。

山口 入湯税は観光費、高層ビル対応のための消費税、泉源の公衆衛生費に充てることが決まっている目的税であるが、入湯税を嬉野市版DMO（観光地域づくり法人）の運営資金に充てることができるのか。

観光戦略統括監 観光

制度の見直し、検証が必要では

増田 朝子 議員

答 検証すべきと考える



増田 ファミリーサポート事業の目的は何か。

市長 地域において育児の援助を行いたい者（まかせて会員）と援助を受けたい者（お願い会員）が行う相互援助活動を支援する事業で安心して働くことができる環境を整備や地域での子育て支援機能の強化に向けた体制づくりである。

増田 一度に複数の子どもを預かる場合は、どのように対応しているか。

子育て未来課長 会員一人につき原則一人に対応しているが、依頼内容を考慮し、可能であれば複数を一人で預かっている。

増田 緊急救命講習及び事故防止等に関する講習は5年に1回とあるが、どのようにしているか。

子育て未来課長 毎年行っている。

増田 全員受講されているか。

子育て未来課長 希望者が受講している。

増田 他の市町ではチラシなどで広報している、嬉野市でも積極的に働きかけるべきと思う。

ひとり親家庭等への利用料金の軽減は考えられないか。

子育て未来課長 利用料金の軽減について検証をしていきたい。

増田 このファミリー



▲安心・安全な対応を

サポート事業は、各自自治体の裁量に任せられ、事業導入10年を機に制度の検証、見直しが必要と思われるが。

市長 10年という一つの節目を機に検証すべきと考える。

放課後児童クラブの緊急連絡体制について

増田 今回の豪雨時の緊急連絡を保護者へどのようにされたか。

子育て未来課長 各放課後児童クラブにある携

帯電話からショートメール、電話で連絡した。

増田 事業主の社会福祉協議会より一斉メールで送信できないか。

市民福祉部長 これまで平常時は学校から放課後児童クラブの分も連絡してもらっていた。現在、検討中で近日にはテスト配信をする予定である。



▲雰囲気と賑わいのある観光地づくりを

費として充てることができるかと思ふが、現在の観光振興費を維持しながら別途DMOの財源とするとは、中長期的な財政面を踏まえると、すぐに判断するのは難しい。

長期滞在避難所について

山口 8月豪雨では地滑りにより長期の避難生活が余儀なくされる事態となったが、今後の長期

避難への嬉野市の対応策は。

副市長

今回は災害救

助法の適用を受け、宿泊施設を「みなし避難所」とすることができたが、災害救助法の適用は10日間までぐらいである。長期にわたる場合の対応として、既存建物の活用検討や不動産事業者への問合せなどの準備をしていた。



山口

若い世代のワクチン接種はどのように進めていくのか。

健康づくり課長

任意の接種なので強制はできないが、努力義務でもある。ワクチンの効果や副反応の情報はお知らせしているが、接種率を見ながら接種の勧奨を、各種媒体を活用しながら行っていく。

山口

ワクチンの供給数は問題ないのか。

健康づくり課長

10月中旬までに12歳以上の2回分のワクチンが本市に来到ることになっている。今のところ予約ができていないとの問い合わせはあっていない。

山口

休日や夜間の時間帯の接種はできるのか。

健康づくり課長

昼休みとか土曜日に対応できる医療機関が5つあり、接種できる医療機関の一

若

い世代のワクチン接種は

答 任意接種なので強制はできないが…

山口忠孝議員

覧表を出している。ホームページでも周知している。

山口

学校関係の教職員は全員接種を済まされているのか。

教育長

本市の教職員や給食センターの調理員は、6月に先行接種をしている。他地域からの先生方もその後接種が済んだとの情報は受けている。任意接種なので校長たりとも全部把握できない。

山口

12歳以上の子どもたちの接種は。

教育長

保護者と子ども本人の任意なので、接種への正しい知識と偏見や差別がないような指導に力を入れている。

財政や市政運営に災害の影響はないのか

山口

今後の市政運営に影響はないのか。



▲ワクチン接種、お済みですか？

市長

当然あると思う。

財政課長

災害復旧事業は、財政面で最優先する必要があると考える。

インバウンドやマイクロツーリズムをどう考えるのか

山口

訪日外国人観光客インバウンドはこれから取り組むのか。

市長

これまでの取り組み方を変えていく必要がある。

観光戦略統括監

コロナ後の、ターゲットを絞ったインバウンドは有効である。

山口

近場志向の観光客マイクロツーリズムについては。

市長

本物志向のコンテンツ作りが必要となってくる。

観光戦略統括監

この地域を知らない観光客も多いのでこの取り組みは適切である。



基 幹産業の今後は

宮崎良平 議員

答 国際基準を満たしていくことが必要

宮崎 コロナ禍、豪雨災害をうけ、基幹産業でもある観光業、茶業、農業の今後において、どのような構想を持ち施策を打ち出していくのか伺う。

観光戦略統括監 地域一体となって取り組んでいく観光振興体制の構築等、現状を踏まえた観光戦略に取り組んでいきたい。

農業政策課長 豪雨、または台風被災が頻発しており、気象に左右されにくい施設園芸の振興に力を入れていく。

茶業振興課長 災害復旧においては茶園基盤推進整備事業、茶園農道整備事業等を活用し、販売促進等では、産地協議会の事務局である強みを生かしたPRに励みたい。

宮崎 「GOTOトラベル」再開という声もある中で、今後一過性の

観光地間のお客の取り合いになるのではと危惧している。世界の潮流であるSDGs（持続可能な開発目標）の中で、持続可能な観光、いわゆる環境汚染や自然破壊に繋がる商業化を避け、地域の自然、文化を大事に守り生かした観光地づくり、サステイナブル・ツーリズムに力を注ぐべきと考える。また茶業、農業においてもSDGsの指標を基に、世界基準を一つ一つ達成していくことが、将来的に力強い基幹産業として紡いでいく一番の近道だと思う。事実今後このような取組をしない地域は淘汰されると言われているが見解を伺う。

市長 サステイナブル・ツーリズムの潮流に乗れるように地域を挙げて努力をしていく必要がある。



▲持続可能な産業政策を

また、好むと好まざるにかかわらず、農業においても国際基準を満たしていけないと、国内の出荷でさえ危うい時代がすぐそこに来ている。国際的な競争力を高め強い農業づくりに努めたい。

補修及び土砂の撤去、木の剪定や草刈り、側溝の清掃等、労賃、材料費の基準を明確に定め行政区に委託可能か伺う。

建設課長 現時点で基準を定めるのは難しい。今後研究をしていく。

市道等の補修について

宮崎 市道協の軽微な

人権擁護委員候補者の推薦に答申

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する人々です。地域の皆さんが人権について関心を持ってもらえるような啓発活動をされています。

今回、人権擁護委員候補者として議会の意見を求められ、全会一致で適任と認め答申しました。任期は、令和4年1月1日から令和6年12月31日の3年間となっています。

塩田町北下久間 高井 仁司氏

全国市議会議長会表彰で受賞

永年議員として嬉野市議会より梶原議員が全国市議会議長会表彰を受賞されました。

議員在籍15年以上 梶原 睦也 議員



今後の益々の活躍を期待します。

閉会中の委員会審査（調査）付託案件

付託事件名	付託委員会名	付託期間
児童福祉について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会 ICT 化に関する調査研究	議会 ICT 化に関する特別委員会	調査終了まで
嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究	嬉野市庁舎検討特別委員会	調査終了まで

12月定例会 会期日程（案）																
17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
討論・採決、閉会	休会	一般質問	一般質問	一般質問	休会	休会	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	開会

議員とかたろう会 中止のお知らせ

これまで複数回に渡り、開催に向け検討を重ねてきました議員とかたろう会ですが、度重なる新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染症予防、市民福祉の観点から、今年度は中止とさせていただきます。心苦しい決断とはなりますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

レポート

まちづくりについて

総務企画常任委員会



▲現地説明を受ける委員会

調査目的

佐賀県のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みの現状や課題を踏まえ、本市における新エネルギーや再生エネルギーを活用したまちづくりの可能性について調査研究を行った。

委員会の意見

今回の視察は嬉野市に佐賀県産業労働部新エネルギー産業課課長、大野伸寛氏と佐賀大学教授、池上康之氏を招いての座学と現地視察であったが、県のエネルギー政策の先進的な取り組みに熱

い思いを持って取り組んでおられることが伝わる内容であった。

「なぜ温暖化対策をしなくてはいけないのかと問われた時に、ほとんどの人は環境のためと答えるが、私は違う視点で捉えている。経済活動のルールが変わった。融資や投資をするお金がCO2のことを気にし始めてきている。これまでみていたCO2を垂れ流してでも経済効率が良いといった時代は終わった。今後、日本においても専門的な知識を持つ職員を育ててほしい。」という大野氏の言葉に感銘を受けた。

将来的に嬉野市の産業、市民活動に支障をきたさないよう、カーボンニュートラル、ゼロカーボン等を声高にパフォーマンスで取り組むような施策ではなく、市としても腰を据えてじっくり取り組むべきだ。

また、議会としても積極的にカーボンニュートラルにおいて更なる見識を深めるよう努めていくべきと考える。

調査目的

国のGIGAスクール構想の取り組みが、コロナ禍の対策等により当初予定より導入が早く進むこととなり、今年度中には市内小中学校の全児童生徒に1人1台のタブレット端末を配置予定である。

このことから、ICT

教育行政について

文教福祉常任委員会

教育を全国に先駆けて導入実践されている武雄市にその取り組みについて調査を行った。

委員会の意見

武雄市では、「武雄市ICT推進協議会」を立ち上げて独自の教育理念や理想を掲げ、議会や首長、教育長もICT教育

に対して理想を共にして取り組みを進めておられる。

国の事業を契機に取り組む嬉野市においては、学校現場で戸惑いもあることが予想される。改めて嬉野市の子育てビジョンの共通認識やICT教育の理念などを再確認し、その上で指導者教育にも盤石な体制をとっていただきたい。

ICTの活用は教育の手段に過ぎず、子どもたちの学習を向上できないければ意味がない。また、子どもたちのつながりが希薄にならないよう配慮すること、人格形成には今まで以上に心がけていただきたい。



▲武雄市役所で説明を受ける委員会

委員会

水道事業について

産業建設常任委員会

調査目的

塩田地区は平成13年度から全域で、嬉野地区は令和元年度から一部の地区で佐賀西部広域水道企業団から水道水の供給を受けているが、令和2年4月1日に佐賀西部広域水道企業団と統合した。統合後の市内にある水道施設の今後や老朽管対策について調査を行った。

委員会の意見

今年度の事業計画として、老朽管更新工事11路線（塩田地区4路線、嬉野



▲水道企業団で質問を行う委員会

地区7路線）で、市単独事業の時より増えている。

これは、国の交付金を活用し前倒しで工事を発注し、鉛管についても全てを撤去する計画で、漏水管についても随時漏水調査を行い、計画的に更新していく予定である。

浄水場の統廃合については、企業団全体で10施設あり、当市においては3施設の浄水場がある。交付金の期限である10年間で検討し統廃合を行っていく予定である。

今後10年間は交付金により事業費不足の不安は解消されるが、企業団の歳入は基本的に水道料金であり、交付金制度が終わる11年目以降の事業費の変動が、人口減少を鑑みると強く懸念される。

このため、有収水量の向上と老朽管の改修、使用料の確実な徴収が重要であると考ええる。

嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究

嬉野市庁舎検討特別委員会



▲神埼市庁舎で説明を受ける委員会

調査目的

嬉野市嬉野庁舎の耐震化及び老朽化に伴う改築について、令和2年に竣工した神埼市の新庁舎の調査を行った。

委員会の意見

神埼市の庁舎建設の理由は、本庁舎の老朽化と分庁舎による非効率化解消が主な目的である。

場所に関しては、浸水のリスクが否めないが市街地を離れることを憂慮

されていたことだ。しかし、浸水対策がなされても周辺が浸水した場合は、司令塔としての機能に疑問が残った。

建設にあたり、市民への説明会は、市三役で出向き市民への理解を求めたとのことである。また、パブリックコメントとともに全戸アンケートを行い、回答率は20%台であったが、各種団体の利益を目的とした組織票が含まれる可能性があるとのアドバイスを受けた。

また、建設コスト高騰も考慮されるので早期着工が経費軽減につながるこのことであった。

神埼市は統合にあたって、住民サービス強化のため支所のリニューアルをおこなっており、今後の維持管理費も課題になってくると思われる。

嬉野市庁舎の建設については、市民や職員の安全確保が喫緊の課題であり、そこを十分に説明する必要がある。場所は地盤が強く浸水の心配がない場所を選定すべきである。

ときの人



嬉野高校2年

坂本 瑞希くん 木下 裕太郎くん

今年9月23日に県内7校の工業系高校が出席する「ロボット競技佐賀県大会」が開催され、嬉野高校の機械研究部が昨年に引き続き優勝し、全国大会の出場権を得られました。

優勝された選手は、機械科2年生の坂本瑞希君、木下裕太郎君ペアで約3カ月掛けてロボットを製作し、練習に練習を重ね、見事他校を引き離す高得点で優勝をされました。今回、優勝されたお二人に取材をしました。

問…優勝おめでとうございます。初めに、嬉野高校を志願された理由を？

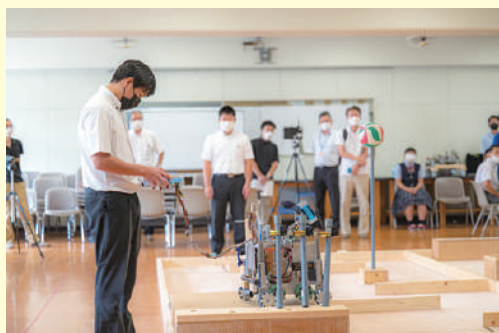
坂本君…将来は機械関係で働きたいと思い、機械系列が学べる嬉野高校を志願しました。

木下君…工業系の専門的な知識を深く学ぶため志願しました。

問…大会出場で一番大変だったことは？

坂本君…3分という短い時間での競技で、操作スイッチを覚えスムーズに動かすのが大変でした。

木下君…ロボットに不具合が生じた時の修理が大変でした。



問…全国大会に向けての意気込みを？
坂本君・木下君…自分たちが持つ力を全て発揮できるように頑張りたい。

問…今後の進路希望は？

坂本君…機械関係の仕事に就き、学んだことを活かして社会に貢献したい。

木下君…県内の企業に就職して、ロボットを活用する仕事に就きたい。

問…最後に今後、嬉野市にやって貰いたいことは？

坂本君…嬉野はお茶や温泉が有名なので、日本だけでなく世界にも、その良さを発信して欲しい。

木下君…嬉野高校は、ロボット大会で頑張っています。もっととたくさんの方にロボット大会を知って貰いたい。

取材を終えて…二人からお話を伺い、将来に向かって努力する姿勢を強く感じました。これからも頑張ってください。

また、全国大会は、プレゼンテーションなどのデータを送って行なわれ、10月30日に審査が発表されます。全国大会での健闘をお祈りします。

コラム

秋も深まって、過ごしやすくなってきましたが、失策や失言を繰り返しながら自分の地位に固執する政治家の姿▼言葉が多すぎるというより、言葉すぎるというより、言葉と言えぬほどのものが無い世の中に思える▼今、気になっているのはこのコロナ禍で、今後やりたいことや将来のことがあまり語られないようになってきているんじゃないかな▼この状況がいつまで続くかわからないというのはたしかにあるんだけど、どいつかは収束するはずだし、感染を広げないために行動は制約しないといけないけれど、心や思考まで自粛する必要はないですよね▼自分の未来にまでブレーキをかけてしまってもったいないですよね▼明るい明日に向かって。

(政人)

議会広報編集特別委員会

委員長	森田明彦
副委員長	諸井義人
委員	山口政人
山口忠孝	
川内聖二	
宮崎一徳	
山口卓也	